



根室の市街地地区を北方向から南方向に向かって撮影した航空写真です。
太平洋とオホーツク海に挟まれ、海に面していることが分かります。

特集 「今まで大丈夫だった」は通用しない

今回の特集では、根室市で危惧される災害や、災害への普段からの備えについて掘り下げていきます。

問合せ
市総務課総務・防災担当
☎ (23) 6111 番内 2222

根室市の状況を知ろう！

根室市は、突き出した半島の地形から、広範囲に渡り海に囲まれています。また、太平洋プレートからなる千島海溝に面しているため、地震とそれに伴う津波の影響を受けやすい地形となつていきます。

国の地震調査委員会が今年3月に発表した最新の全国地震動予測地図では、今後30年間で震度6弱以上の揺れに見舞われる確率が約80%とされ、全国で2番目に高い地域となりました。また、「千島海溝沿いの地震活動の長期評価」においても、M8.8程度以上の「超巨大地震」の発生確率が7〜40%、M7.8〜M8.5程度の「巨大地震」の発生確率が80%程度とされています。

私たちが住んでいる根室市は、いつ大きな地震がおきてもおかしくない地域であり、それに伴う津波発生の可能性が非常に高い地域です。

また、高潮災害をはじめ、

全国各地で発生している土砂災害など気象災害への警戒も強めていかなければなりません。改めて災害に対する認識を深め、いざという時のために備えておきましょう。

| 領域地震名 | 規模 | 発生確率 | | | 平均発生間隔 |
|--------------|------------|-------|-------|---------|---------------------|
| | | 10年以内 | 30年以内 | 50年以内 | |
| 超巨大地震 | M8.8程度以上 | 2~10% | 7~40% | 10~60% | 約340~380年 (17世紀) |
| 十勝沖 | M8.0~8.6程度 | 0.07% | 8% | 30%程度 | 80.3年 (14.3年前) |
| 根室沖 | M7.8~8.5程度 | 20%程度 | 80%程度 | 90%程度以上 | 65.1年 (44.5年前) |
| 色丹島沖 択捉島沖 | M7.7~8.5前後 | 20%程度 | 60%程度 | 80%程度 | 35.5年 |

地震調査委員会が発表した地震発生確率

地震が発生したらどうなる？

大きな地震が発生したときは、建物の倒壊や落下物、家具の転倒、火災の発生、津波の発生などに気をつけなければなりません。

まずは一人ひとりが自分の身の安全を守る行動を実践し、自らの安全が確保できたら家の中を確認したり、情報収集に努めましょう。

地震が発生したら!?



建物が倒壊



頭上から落下物



火災の発生



家具の転倒



津波が発生することも



地震発生時の行動

●地震発生時

まずは身の安全を確保する
緊急地震速報や、大きな揺れがあったときは、まずは身の安全を最優先に行動しましょう。

また、丈夫なテーブルの下や、物が「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」空間に身を寄せ、揺れが収まるまで様子を見ましょう。

●地震直後

火元の確認と初期消火
火を使っている時は、揺れが収まってから、慌てずに火を始末しましょう。

出火している時は消火しましょう。ただし無理はせず119番通報や周囲に助けを求めましょう。

●慌てずに行動する

家の中では転倒や落下した家具類、割れたガラスの破片などに注意して行動しましょう。

窓ガラスや看板が落ちてくる危険があるので、慌てて外に飛び出さないでください。

●出口の確保

揺れが収まったのを確認してからドアや窓を開け、必要に応じて避難ができるよう出口を確保します。

●危険個所に近寄らない

外で大きな揺れを感じたときは、倒壊の恐れがあるブロック塀、電柱、看板、自動販売機、橋などには近寄らないでください。

●揺れが収まった後

正しい情報を集める
災害発生時には、いま何が起きているか、今後何が起きるかなど、情報収集が非常に重要です。

デマ情報に惑わされないよう、正しい情報を手で取る手段を確保しておきましょう。

また、災害発生時には、普段使っている手段が使えない場合もあります。普段から複数の情報収集手段を備えておきましょう。



津波への備え

●津波の特徴

津波はとても速いです！
警報等の発表を待たずに、いち早く高台へ逃げるのが重要です。

津波は何度でも襲ってきます！
一度、波が引いたからといって、港などには近づかないでください。

●津波避難の三原則

01 想定にとらわれるな

ハザードマップなどに掲載されている情報は「あくまで想定」として考えること。相手は自然であり、どんなことが起こるかわかりません。自分のいる場所が安全と判断される場所であっても油断しないことが大切です。

02 最善を尽くせ

一時的に避難した場所に固執せず、「より安全な別の場所に避難できるか」を考え、その時にできる最善をつくした避難行動をとりましょう。

03 率先避難者たれ

「自分は被害に遭わないだろう」という考えは捨て、率先して避難すること。いざというときには想定以上のことも判断しなければならぬ事態が起こることも考えておきましょう。

日頃からの備え

住んでいる地域の危険性、避難する場所を確認

災害時、落ち着いて行動できるような避難ルートをあらかじめ想定しておく、実際に避難する場所まで歩いて時間を確認するなど、慌てずに行動できるような準備しておくことが大切です。

家庭内備蓄や非常持ち出し品の準備

避難所で生活することになった場合、普段、自分が使うものは、出来るだけ自分で用意する必要があります。通常の非常持ち出し品に加え、マスクや消毒液、体温計などの感染症対策用品は、すぐに持ち出せるよう準備をお願いします。

家族のルールを決めておこう

災害発生時に、家族が一

緒にいととは限りません。職場や学校などにいる場合も考え、家族の避難先や連絡方法などのルールを決めておきましょう。

また、感染症対策も考慮し、状況に応じて、安全な場所にいる親戚の家への避難なども相談しておきましょう。

家具の固定や配置の変更・確認

地震が発生した際には、家具の下敷きになってしまったり、出入口が塞がれてしまう可能性があります。

普段自分がよく過ごす場所を中心に、家の中に危険な箇所がないか確認しましょう。

情報収集手段の確保

普段から気象情報・防災情報を確認する習慣をつけ、いざというときに備えましょう。

情報収集方法



公式Twitter



公式Facebook



ねむろメール



防災行政無線



地デジ広報

また、デマ情報に惑わされないよう、正確な情報を入力できる手段を確保しておくことも重要です。特に、SNSで個人の方の考えや誤った情報が発信され、不確かな情報でもそ

れを信じてしまう方が多くみられます。市が発信する情報媒体から正確な情報を収集して、落ち着いて適切に行動してください。

根室警察署からのお願い

9月1日は「防災の日」です。政府、公共団体などの関係機関が、「広く国民の皆さんに台風、高潮、津波、地震などの災害について意識を高め、これに対処する心構えを準備してもらいたい」という願いを込めて、様々な啓発活動を行っている日です。

今回の特集記事に掲載されているように、日頃から家族で防災対策について話し合い、防災グッズの準備や家具の転倒防止対策、避難場所の確認などを行いましょう。



FMねむろ (76.3 MHz)

災害が発生したら

避難のポイント

大きな地震が発生し、津波の危険性がある場合は、海からより遠く、より高い場所へ直ちに避難する必要があります。

また、新型コロナウイルス感染症の感染リスクがある中で、これまでと同じ避難のあり方では、「3密」の条件が揃いやすく、感染症が拡大するリスクも考えられます。避難する際には、次の4つのポイントを意識しましょう。

01 在宅避難

自宅が安全であれば、そのまま自宅で情報収集に努めましょう。

02 親戚・知人宅へ避難

自宅よりも安全な親戚・知人宅があれば、そちらに避難しましょう。なお、事

前に避難することを相談しておきましょう。

03 ホテル・旅館などへ避難

在宅避難や親戚宅などへの避難が難しい場合は、ホテルや旅館などに避難することも有効です。※宿泊料が必要になります。

04 市開設の避難所へ避難

安全な場所への避難が難しい状況であれば、市が開設する避難所へ避難しましょう。

避難所の種類

避難所は、その目的に応じて次の種類に分類されます。それぞれの役割を理解して、正しい避難を行いましょう。

●指定緊急避難場所

切迫した災害の危険から命を守るために緊急的に避

難する場所です。

●指定避難所

災害から避難した人が滞在したり、自宅などに戻れなくなった場合に一定期間、避難生活を送るための施設です。

●待避所

暴風雪、停電、火災発生時などの一時待避や、指定避難所を補完する場合などに、状況により必要に応じて臨時的に開設する施設です。「地震」や「津波」の災害の時は避難できない施設もあります。

●福祉避難所

高齢者、障がい者、乳幼児、妊婦などの特に配慮を要する方のための施設で、避難所での生活が困難な方々を受け入れる避難所です。

動画で学ぶ

根室市では、地震や津波のメカニズムについて、動画配信サイト「Youtube」に解説動画をアップロードしています。

動画は、映像から臨場感が伝わりやすく、災害がイメージしやすいコンテンツですので、動画を活用して災害について学びましょう。

市の動画を視聴する場合は「根室市教育委員会」で検索してください。

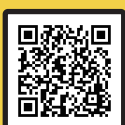
また、市の公式チャンネルでも、令和2年度の総合防災訓練の様子を配信しています。

普段見ることのできない救急車両や特殊車両、航空機、船舶などの活躍を見ることができしますので、ぜひこちらもご覧ください。

Youtubeは
\ コチラから /



▲根室市公式チャンネル



▲市教育委員会公式チャンネル

